



# 処分組合ニュース

発行：東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合

処分組合は組織団体からの負担まで運営されています  
**処分組合  
組織団体**

八王子市	三鷹市	昭島市	小金井市	東村山市	福生市	清瀬市	多摩市	西東京市
立川市	青梅市	調布市	小平市	国分寺市	狛江市	東久留米市	稲城市	瑞穂町
武蔵野市	府中市	町田市	日野市	国立市	東大和市	武蔵村山市	羽村市	

【事務局】〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 TEL: 042-385-5947 FAX: 042-384-8449  
ホームページ <http://www.tokyo-shobunkumiai.com> メールアドレス [sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com](mailto:sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com) 処分組合は、多摩地域25市1町380万人の可燃ごみ焼却灰や不燃物を埋め立てている二ツ塚処分場を管理・運営している特別地方公共団体です。

## 主な記事

エコセメント化施設の整備運営事業者を公募しました！ DPFの装着を進めるため、補助事業を実施しています 溶出試験の結果からエコセメントの安全性は確認されています  
処分組合理事会理事紹介 裁判レポート 組合議会だより / 平成14年第2回定例会が開かれました / 組合議会が市原エコセメントを視察 平成13年度決算の報告  
谷戸沢の四季 日の出だより 三多摩はつなぐ交流事業 平成15・16年度 建設工事及び物品買入れ等競争入札参加資格審査申込みについて 処分組合の動き

## 限りある最終処分場を有効に使うために 「生ごみ」の減量化にご協力ください！

多摩地域25市1町から出る可燃ごみの焼却灰と不燃ごみは、日の出町にある二ツ塚処分場で埋立処分されています。限りある処分場を有効に使うためには、ごみを減らすことが大切。今号では「生ごみ」について取り上げてみました。

### 可燃ごみの約3割は「生ごみ」です

毎年、年末年始の期間には、一時的にごみの収集が行われなくなります。年明けの収集が始まるころには、みなさんのご家庭でも生ごみがかなりたまっていないでしょうか？ 平成13年度のデータによると、多摩地域の可燃ごみのうち「生ごみ」が占める割合は全体の約3割(湿ベース)と、紙類の約4割(同)について多くなっています。私たちが「生ごみ」を減らす工夫をすることは、限りある最終処分場を有効に使うために、とても大切なことなのです。

ごみが水分を含んだ状態で測定する方法による



### ごみ減量はまずキッチンから

生ごみを減らすうえで一番大切なのは、生ごみを出さないように買い物と調理の工夫をすることです。食品の買い物は、まず家にあるものを確かめて、必要なものだけを必要なときに。日ごろから冷蔵庫や食品庫の整理整頓を行い、買い物メモを作ること大切です。また、調理をするときは常に「食べ切れる量」だけ作ることを考えましょう。ごみを減らすだけでなく、エネルギーの節約にもつながりますよ。

### 「こうしてほしい、正しい出し方」

清掃工場で見ました

では、実際に生ごみを出すときには、どんな注意が必要なのでしょうか。武蔵野クリーンセンターの石原雅典さんは、「とにかく水を切ってほしい」と話します。「生ごみの約8割は水分。生ごみの水分で焼却炉の燃焼温度が下がるとダイオキシン類の発生にもつながりますから、ガスなどの燃料を燃やして温度を上げる必要がある」。つまり、余分なエネルギーを使うことになります。水切りは省エネにもなるのです。



「生ごみの8割が水分。たとえばパック一車で運ぶごみの半分が生ごみだとすると、4割は「水」を運んでいることになるんです」と、石原さん。ガスなどを燃やして焼却炉の温度を維持することは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を余計に排出することにもなります。

### 生ごみを肥料にリサイクルしています

武蔵野市の取り組み

生ごみを堆肥としてリサイクルする試みが、武蔵野市にある団地で進んでいます。市の北西部に位置する桜堤団地(第1期入居・約600世帯)では、市と都市基盤整備公団が協議し、13台の生ごみ処理機を設置。年間100～130トンもの生ごみの堆肥化を実現しています。武蔵野市ごみ総合対策課の原芳治さんは、「大規模集合住宅としては全国でも初めて。最終的には約50台の処理機で約2,300世帯分の



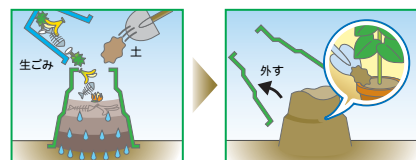
生ごみを堆肥として再資源化したい」と話しています。

桜堤団地に設置された生ごみ処理機。「設置後1年目のアンケートでは住民の98%が肯定的な評価をしてくれています」と、原さん。

処理機で1次発酵されるコンポスト。専門業者による2次発酵(木の枝・葉を混ぜて寝かせる)を経て、市内の農家14軒に無償で提供され、作物は「市内産野菜」として市民に供給されています。

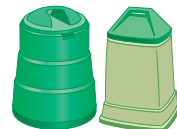
### あなたも始めてみませんか？ 「生ごみ」のリサイクル

生ごみのリサイクルが進んでいるのは桜堤団地だけではありません。みなさんがお住まいの多摩地域では、ほとんどの自治体が家庭用生ごみ処理機器などの購入を助成する制度を設けています。これらは購入金額の一部を自治体が負担して、生ごみのリサイクルを進め、ごみの減量化に役立てようとするものです。ぜひ一度、自治体の広報や窓口、ホームページなどで調べてみてはいかがでしょうか。



#### コンポスターのしくみ

庭などに設置する一般的なコンポスターは、土中のバクテリアが有機質を分解する働きを利用して、生ごみ(有機物)を発酵分解させるものです。ごみに含まれる水分は土中に吸収され、発酵分解が進むとごみの体積も大幅に減ります。投入された生ごみは、通常3～6ヵ月程度で家庭菜園などで利用できる堆肥になります。



武蔵野市ではイラストのような一般的なコンポスターを購入した場合、自己負担は3,000円(70リットル3～4人用・130リットル4～6人用)。ほかに電動式生ごみ処理機、EMパケツ購入に対する助成制度もあります。詳しくはお住まいの自治体にお問い合わせください。

# エコセメント化施設の 整備運営事業者を公募しました!

処分組合では、「多摩地域廃棄物エコセメント化施設整備運営事業」(以下、エコセメント事業)について民間事業者の選定を実施するため、昨年11月25日に入札公告を行い、公募関係資料を公表しました。

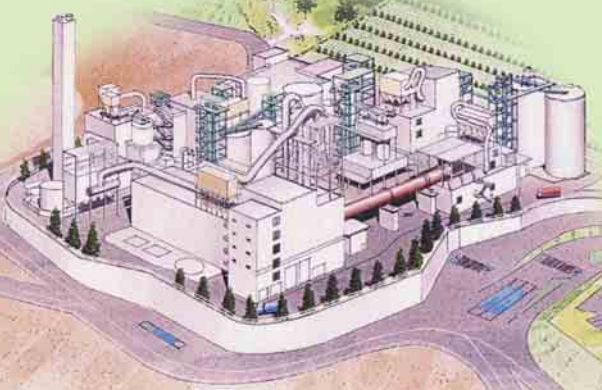
このエコセメント事業は、DBO(※)と呼ばれる公設・民営方式(処分組合が施設を所有し、その施設の設計・建設と維持管理・運営・販売を施設建設後20年間にわたり一体的に民間事業者が行う)で実施します。これにより、事業の公共性を確保しながら民間活力を取り入れ、経費の削減等を図っていきます。

昨年の11月27日には東京自治会館で「入札説明会」を開催し、入札(提案書提出)の方法や落札者の決定方法などについての説明を行い、本年1月10日には参加表明書等の提出を受け付けました。

※DBO:Design Build Operate(設計・建設と維持管理・運営・販売の一括受託型契約)



●11月27日に開かれた入札説明会(東京自治会館)



## ■エコセメント事業者公募スケジュール

平成14年 11月25日(月)	入札公告
平成15年 1月10日(金)	参加表明書及び資格確認申請書の提出
平成15年 3月17日(月)	入札(提案書提出)
平成15年 5月上旬(予定)	落札者決定
平成15年 6月下旬(予定)	仮基本協定等締結と入札結果公表
平成15年 7月下旬(予定)	基本協定等締結
平成18年 4月(予定)	運営開始

## 東京都のディーゼル排ガス対策に先行!

# DPF(粒子状物質減少装置)の 装着を進めるため、 補助事業を実施しています

現在、二ツ塚処分場への搬入車両は74台が登録され、1日70台程度が運行されています。処分組合では、そのうち東京都の条例により平成15年10月から通行禁止などの規制対象となる平成6年規制車両33台に粒子状物質減少装置(以下、DPF)を装着するための補助事業を実施しています。

処分組合ではこの補助事業の実施に向け、平成14年3月から搬入ディーゼル車4台にDPFを取り付けて実際の走行による「実証試験」を行い、おおむね良好な結果を得ました。今後は、対象となる車両へのDPF装着について平成14年度限定で補助金を支出し、平成14年度中のDPF装着を目指していきます。

この補助事業により、東京都が環境確保条例に基づいて実施するディーゼル車の排ガス対策を先行して実施し、搬入車両が通行する道路周辺の環境負荷の低減を図っていきます。



# エコセメントの安全性は確認されています — 重金属類溶出試験の結果から —

エコセメントの製造工程では、原料となる焼却灰に含まれる重金属類は焼成により排ガス中に移行し回収されます。また、製品中に残存していても、エコセメントを構成する鉱物の結晶構造の中に取り込まれ、一般環境中への溶出が防止されることから、安全性に問題はありませぬ。

表1は、NEDO(通商産業省新エネルギー・産業技術総合開発機構)が実施したエコセメントの重金属類溶出試験の結果です。エコセメントを使用したモルタル(砂を混ぜて固めたもの)、コンクリート(砂、砂利を混ぜて固めたもの)、ブロック(組み合わせで道路舗装に用いるブロック)など、いずれも「土壌の汚染に係る環境基準」を満足し、ほとんどが定量下限値未満という測定結果を得ています。なお、JIS(日本工業規格)制定にあたり社団法人セメント協会が作成した資料においても、同様のデータが示されています。

また、廃棄物学会では、酸性雨の影響を評価するため欧米各国で採用されているさまざまな試験方法により、重金属類溶出試験を実施しました。一例として、スイスで実施されている「TVA試験」による結果を表2に示します。この方法はもちろん、他の試験方法においても、規制・基準を満たす結果が得られています。

このように、エコセメントの性状については専門的な見地から徹底した調査研究が行われ、その安全性が確認されているのです。

一方、愛知県田原町にあるエコセメント実証プラントで生産された製品中のダイオキシン類濃度は、定量下限値未満~0.28pg-TEQ/gと極めて低い水準にありました(環境基準は、大気:0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>、水質:1pg-TEQ/l、土壌:1000pg-TEQ/g)。二ツ塚処分場内で稼働する施設により生産されるエコセメントについても、同等以下の濃度を確保する方針です。

表1.エコセメント供試体の溶出量測定結果 (mg/l)

供試体の種類	カドミウム	シアン	鉛	六価クロム	水銀	銅	ヒ素	セレン
モルタル3日材齢	0.005未満	0.1未満	0.01未満	0.04未満	0.0005未満	0.02未満	0.002未満	0.002未満
モルタル28日材齢	0.005未満	0.1未満	0.01未満	0.04未満	0.0005未満	0.02未満	0.002未満	0.002未満
コンクリート28日材齢	0.005未満	0.1未満	0.01未満	0.04未満	0.0005未満	0.02未満	0.002未満	0.002未満
コンクリート1年材齢	0.005未満	0.1未満	0.01未満	0.04未満	0.0005未満	0.02未満	0.002未満	0.002未満
ブロック28日材齢	0.005未満	0.1未満	0.01未満	0.04未満	0.0005未満	0.02未満	0.002未満	0.002未満
ブロック1年材齢	0.005未満	0.1未満	0.01未満	0.04未満	0.0005未満	0.02未満	0.002未満	0.002未満
土壌の汚染に係る環境基準(注)	0.01	検出されないこと	0.01	0.05	0.0005	—	0.01	0.01

(注)環境基本法第16条第1項による土壌の汚染に係る環境基準についての告示による

表2.TVA試験結果と規制値 (mg/l)

試料	鉛	六価クロム	ヒ素	カドミウム	総水銀	セレン	シアン	銅	フッ素	亜鉛	クロム
エコセメントモルタル	N.Q.	(0.007)	N.Q.	N.Q.	N.Q.	N.Q.	N.Q.	0.06	N.Q.	0.74	N.Q.
普通セメントモルタル	N.Q.	(0.010)	N.Q.	N.Q.	N.Q.	N.Q.	N.Q.	0.02	N.Q.	0.13	N.Q.
有効利用基準値	0.1	0.01	0.01	0.01	0.005	—	0.01	0.2	1	1	—
定量下限値	0.01	0.02	0.01	0.005	0.0005	0.002	0.01	0.01	0.4	0.01	0.05

N.Q.:定量下限値未満 ( ) :定量下限値未満、検出下限以上の値

## 裁判レポート

# (株)学習研究社との和解が成立しました

学習研究社(以下、学研)が発行した書籍の記載内容について、処分組合がその出版差し止め、謝罪広告の掲載等を求めて、平成12年11月に東京地方裁判所に提起していた訴訟について、平成14年11月11日、学研との間で和解が成立しました。

問題となった書籍は、平成12年2月に学研が小学生向けに出版した「総合的学習 調べよう 身近な自然」第2巻「空気を調べる」。この中で同社は、二ツ塚処分場の写真を「東京都日の出町のごみ埋め立て場」と題して処分組合に無断で掲載。その説明文として「ダイオキシンをふくんだ焼却灰が風で飛ばされたり、水道水の水源となる地下水に流れこんでいきます。」などと、事実と異なる記載を行いました。

和解の主な内容は、以下のとおりです。処分組合としては、和解内容により訴訟を提起した目的は実質的に達成されるものと判断し、10月30日の組合議会の議決を得て、今回の和解成立となりました。

## 【和解の概要】

- (1)原告(処分組合)は、被告(学研)が和解に向けた準備行為として「総合的学習 調べよう 身近な自然」第2巻「空気を調べる」の第4刷において関係記事を訂正したことを確認する。
- (2)訂正前の版を所有する者が希望する場合に、被告(学研)は無償で交換に応じる。
- (3)被告(学研)は、訂正記事を「学校図書館」及び学研の学習誌(「科学」6誌、「学習」6誌)に各1回掲載する。

# 組合議会だより

組合議会の議員は、25市1町の議会議員の中から選出されています。

## 平成14年第2回定例会が開かれました

処分組合議会の平成14年第2回定例会が10月30日に開かれ、「エコセメント施設用地造成工事に関する請負契約の締結」など右の表に示した案件のほか、裁判レポートでお知らせした「(株)学研との和解」、「決算の認定」など7議案を審議しました。

件名	議決結果
エコセメント施設用地造成工事に関する請負契約の締結について	原案可決
日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場建設工事(その2)に関する請負変更契約の締結について	原案可決
平成14年度東京都多摩地域廃棄物広域処分組合一般会計補正予算(第1号)について	原案可決
東京都多摩地域廃棄物広域処分組合組織条例の全部を改正する条例について	原案可決

## 組合議会が市原エコセメントを視察

10月22日、処分組合議会の石井議長をはじめ16名の議員が、千葉県市原市にある市原エコセメント施設を視察しました。市原エコセメントは、千葉県内のごみ焼却灰等をリサイクルし、エコセメントを製造している世界で唯一の施設です。最初に製造工程や環境保全対策などの説明を受けた後、施設を見学しました。

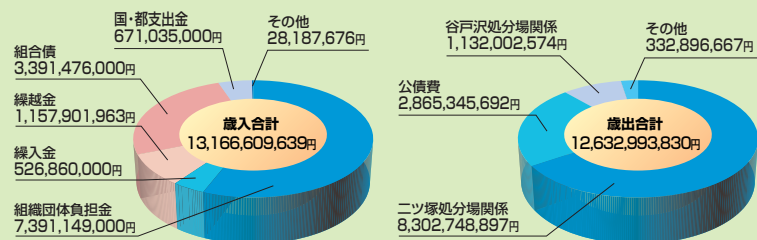


# 今年も25市1町が力を合わせて、ごみの最終処分とエコセメント事業の推進に取り組みます



## 平成13年度決算の報告

平成13年度決算が、平成14年第2回定例会で認定されました。平成13年度一般会計決算は、歳入131億6,660万9,639円、歳出126億3,299万3,830円、差引残額5億3,361万5,809円となっています。



歳入は、前年度と比較して37.8%の増で、構成比では、組織団体からの負担金が56.1%、組合債が25.8%などとなっています。

歳出は、前年度比較50.5%の増。構成比では、二ツ塚処分場関係が65.7%、公債費22.7%などとなっています。

色鮮やかな **秋**



清流復活用貯水池に映る紅葉

# 谷戸沢の四季秋冬

処分場の「いま」

今回は、谷戸沢の秋から冬にかけての風景をご紹介します。



旧管理センター脇のモミジ

真っ白な雪に包まれる **冬**



清流復活用貯水池の雪景色

## お知らせ

### 日の出だより



#### No.16 新たな年の無病息災を祈る 貴重な行事が行われます

日の出町大久野にある古刹(古寺)、不動明王を本尊とする秋川不動尊西福寺では、毎年1月の第3日曜日に最も大きな祭事である「火渡り」が境内で行われ、多くの人々で賑わいます。



この祭事は、寺の前の広場で護摩が焚かれ、読経が響きわたるなか、まだ火が残るその灰の上を裸足で渡るというものです。もともとは修験道の修行のひとつですが、西福寺の火渡りは山伏や僧侶に続いて一般の人も参加できる行として知られています。毎年、立ち上る煙の中、一年間の無病息災を祈って若者男女が火渡りに挑みます。

日 時 / 2003年1月19日(日) 11:00 初護摩、13:00 火渡り  
場 所 / 西福寺(JR五日市線武蔵五日市駅下車バス20分)  
問合せ / 日の出町 経済課商工観光係 Tel.042-597-0511(内線242)  
日の出町ホームページ <http://www.town.hinode.tokyo.jp>

### \*\*三多摩は一つなり交流事業\*\*

サッカーリーグ観戦 (9月28日)

日の出町・昭島市インディアカ親善交流試合(10月27日)

日の出町民36名が稲城市を訪れ、清掃工場や市内を見学した後、稲城市を拠点とする東京ヴェルディ1969と名古屋グランパスエイトの試合を東京スタジアムで観戦しました。



昭島市にある都立多摩スポーツ会館でインディアカ大会を開催。秋の一日、日の出町民と昭島市民が共にスポーツを楽しみました。

くにたち市民まつりで交流演舞(11月4日)



秋晴れの休日、くにたち市民まつりに日の出町の舞踊連盟が参加。大学通りの会場で、国立市のみなさんと一緒に華やかな踊りを披露しました。

武蔵野市民文化会館で宝塚歌劇を鑑賞(11月12日)

日の出町民40名が、武蔵野市で行われた宝塚歌劇公演を鑑賞。華やかな歌劇の世界を堪能しました。

華やかな歌劇の世界を堪能しました。

2003年1~3月 実施イベント

実施日	イベント名	事業主体
3月29日(土)	親子そば打ち体験(青梅市)	日の出町

### 平成15年度 建設工事及び物品買入れ等競争入札参加資格審査申込みについて

処分組合では、平成15年度・16年度の「建設工事及び物品買入れ等競争入札参加資格審査申込み」を次のとおり受け付けます。

受付期間 平成15年1月21日(火)から1月24日(金)まで  
受付時間 午前10時から午後4時まで(ただし、正午から午後1時は除く)  
受付場所 下記住所の東京自治会館内2階第13・14会議室  
審査基準日 平成15年1月1日  
申請用紙 (財)東京都弘済会作成の統一様式を使用してください。

自動車での来館はご遠慮ください。また、受付期間を過ぎた申込みは受け付けいたしませんのでご注意ください。

問い合わせ先 東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合 管理課 TEL.042-385-5947

### 処分組合の動き

- 10月3日(木) 平成14年第3回正・副管理者会議
- 10月18日(金) 平成14年第3回理事会  
平成14年第4回エコセメント推進委員会
- 10月21日(月) エコセメント事業環境影響評価書案に係る見解書提出
- 10月22日(火) 処分組合議会市原エコセメント視察
- 10月30日(水) 平成14年第2回処分組合議会定例会
- 11月1日(金)・20日(水) エコセメント事業環境影響評価書案に係る見解書公示・縦覧
- 11月6日(水)・13日(水) ニツ塚処分場敷地内大気中ダイオキシン類調査
- 11月14日(木) エコセメント化施設整備運営事業者選定審査会(第2回)
- 11月25日(月) エコセメント事業における民間事業者の公募開始(入札公告)
- 11月27日(水) エコセメント事業における民間事業者の公募に関する入札説明会
- 12月4日(水) エコセメント事業環境影響評価書案及び評価書案に係る見解書についての都民の意見を聴く会(東京都主催)
- 12月5日(木) 第8回処分組合技術委員会
- 12月11日(水) 第12回環境保全調査委員会
- 12月17日(火) 第3自治会谷戸沢処分場監視委員会
- 12月20日(金) 第22自治会ニツ塚処分場対策委員会
- 12月25日(水) 谷戸沢処分場水質等調査結果公表(平成14年度上半期)  
ニツ塚処分場水質等調査結果公表(平成14年度第2四半期分)  
平成14年度処分場敷地内大気中のダイオキシン類調査結果公表(平成14年度1、2回:春期及び夏期分)

### ホームページをご覧ください

<http://www.tokyo-shobunkumiai.com>

処分組合では、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質などの調査結果をホームページで公表しています。クイズに挑戦しながら「ごみの処理」について知ることができるコーナーも好評です。ぜひアクセスしてみてください。



### 問い合わせ先

TEL:042 385 5947  
FAX:042 384 8449

処分組合ニュースの内容やごみ処理に関するお考えなど、皆様のご意見を、お手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。  
〒183 0052  
東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内  
東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合  
「処分組合ニュース係」

【メールアドレス】[sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com](mailto:sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com)